

みずほCustomer Desk Report 2018/04/17号 (As of 2018/04/16)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

| | USD/JPY | EUR/USD | EUR/JPY | 公示仲値 | 107.51 |
|-------------|-----------|---------|----------------|---------|---------------|
| TKY 9:00AM | 107.52 | 1.2332 | 132.59 | 1.4247 | 0.7773 |
| SYD-NY High | 107.61 | 1.2395 | 132.97 | 1.4345 | 0.7783 |
| SYD-NY Low | 107.04 | 1.2325 | 132.12 | 1.4235 | 0.7753 |
| NY 5:00 PM | 107.11 | 1.2380 | 132.64 | 1.4339 | 0.7781 |
| NY DOW | 24,573.04 | 212.90 | 日本2年債 | -0.1500 | 1.00bp |
| NASDAQ | 7,156.29 | 49.64 | 日本10年債 | 0.0400 | 1.00bp |
| S&P | 2,677.84 | 21.54 | 米国2年債 | 2.3794 | 2.07bp |
| 日経平均 | 21,835.53 | 56.79 | 米国5年債 | 2.6804 | 1.03bp |
| TOPIX | 1,736.22 | 6.86 | 米国10年債 | 2.8276 | 0.37bp |
| ソコ日経先物 | 21,835 | 40.00 | 独10年債 | 0.5225 | 1.30bp |
| ロンドンFT | 7,198.20 | ▲66.36 | 英10年債 | 1.4620 | 2.75bp |
| DAX | 12,391.41 | ▲50.99 | 豪10年債 | 2.7410 | 2.55bp |
| ハンセン指数 | 30,315.59 | ▲492.79 | USDJPY 1M Vol | 6.98 | 0.00% |
| 上海総合 | 3,110.65 | ▲48.40 | USDJPY 3M Vol | 7.36 | ▲0.11% |
| NY金 | 1,350.70 | 2.80 | USDJPY 6M Vol | 7.80 | ▲0.08% |
| WTI | 66.22 | ▲1.17 | USDJPY 1M 25RR | -0.80 | Yen Call Over |
| CRB指数 | 199.55 | ▲0.15 | EURJPY 3M Vol | 7.58 | ▲0.05% |
| ドルインデックス | 89.43 | ▲0.38 | EURJPY 6M Vol | 8.10 | ▲0.02% |

【昨日の指標等】

| Date | Time | Event | 結果 | 予想 |
|-------|-------|--|---------|------|
| 4月16日 | 21:30 | 米 NY連銀製造業景気指数 | 4月 15.8 | 18.4 |
| | 21:30 | 米 小売売上高速報(前月比) | 3月 0.6% | 0.4% |
| 4月17日 | 01:00 | 米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演「米経済の先行き、改善するには構造改革が必要」 | | |
| | 01:00 | 米 カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演「インフレ率は2%の目標に向けて徐々に動き始めている」 | | |
| | 02:15 | 米 ポスティック・アトランタ連銀総裁 講演「賃金にあまり大きな変動は見られていない」 | | |

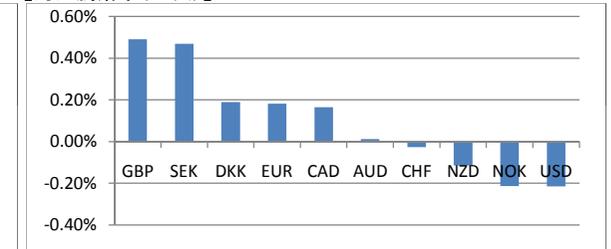
【本日の予定】

| Date | Time | Event | 予想 | 前回 |
|-------|-------|--------------------------|----------|-------|
| 4月17日 | 11:00 | 中 GDP(前年比) | 1Q 6.8% | 6.8% |
| | 11:00 | 中 小売売上高(前年比) | 3月 9.7% | 9.4% |
| | 21:30 | 米 住宅着工件数 | 3月 1267k | 1236k |
| | 21:30 | 米 建設許可件数 | 3月 1321k | 1321k |
| | 22:15 | 米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁 講演 | - | - |
| | 23:00 | 米 クォールズFRB副議長 講演 | - | - |
| 4月18日 | 00:00 | 米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演 | - | - |
| | 02:10 | 米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演 | - | - |

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

| 通貨ペア | USD/JPY | EUR/USD | EUR/JPY |
|-------|---------------|---------------|---------------|
| 想定レンジ | 106.60-107.60 | 1.2330-1.2430 | 132.00-133.00 |

【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル円は小幅下落する展開。シリア情勢が依然として警戒される中、週明けの反応は限定的となったが、トランプ氏が中国やロシアに対して通貨安批判を行ったことでドル安の動きが進行。ドル円は107円丁度近辺まで下落する展開となった。本日のドル円は様子見姿勢からレンジ推移を予想する。今週の注目点は17日～18日にかけて実施される日米首脳会談となるが、足元のトランプ氏の通商政策スタンスを確認する限り、本邦にとってプラスの発言が期待できる可能性は低く、為替報告書では日本に対する見方に変化はなかったものの、トランプ氏が円安に対しての懸念を強める可能性も否定できず、関係筋を含めた突発的なヘッドラインには注意が必要とされ、ドル円はダウンサイドに必要を払う必要がある。

| | |
|--------|---|
| 東京 | オセア時間、107.30付近で推移していたドル円は米英仏3国によるシリア攻撃は「1度限り」と報道されていたことから過度にリスクオフの展開になることはなく、高値107.61まで上昇し、107.52レベルで東京時間オープン。明日に予定されている日米首脳会談でトランプ米大統領への警戒感から107.39まで下落。その後、仲値の発表にかけて107.50まで反発する場面も見られたが、小泉純一郎元首相が安倍首相の3選は難しいとの見解を示していたことも材料視され、じりじりと軟調推移。結局、一時107.13まで下落し、107.23レベルで海外に渡った。(東京15:30) |
| ロンドン | ロンドン市場のドル円は107.23レベルでオープン。ロシアのウラコフ外務次官が米制裁に対抗する法案の採択を遅らせるようなことはしないと述べたことで107.16円まで下落。その後は若田部日銀副総裁の「急なインフレ率上昇でも対応可能、手段持っている」との発言等から、日銀の緩和措置継続が示唆されたことで反発し、107.34レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.2339レベルでオープン。本日中午にムニューシ財務長官がロシアに対して追加制裁が発表されるとの見方から、ドルが売られる展開。ユーロは対ドルで1.2374まで堅調に推移し、1.2370レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 山本) |
| ニューヨーク | 週末の米英仏によるシリアへのミサイル攻撃について、とりあえずは一回のみの軍事行動ということが強調されたことから、海外市場のドル円は上昇して始まったが、対欧州通貨でのドル売りの強まりに圧され、107.13まで下落し、107.34レベルでNYオープン。朝方発表された米3月小売売上高はヘッドラインこそ4ヶ月ぶりのプラスに転じたが、コアは予想通りの結果にとどまったことや米4月NY連銀製造業景気指数が前月の反動もあり予想を下回る結果となったことから、107.28まで下落。その後、トランプ米大統領が「米国が利上げをしている時期に中国とロシアは通貨切り下げゲームをしている。受け入れ難い」とツイートしたことからドル全面安の展開となり、ドル円は107.17まで続落。サンダース報道官による「ワシントン、対ロシア追加制裁を検討中」とのコメントも意識され、上値重く推移するなか、133円台のせいで失敗したユーロ円が下落幅を拡大する動きに連れ安となり、安値107.04まで値を下げた。その後、米紙の「トランプ大統領：ロシア追加制裁計画を取りやめ」との記事を受けて、小幅に戻し、107.11レベルでクロス。なお、本日トランプ大統領は、コロンビア大学教授で米債運用大手会社のグローバル戦略アドバイザーを務めるリチャード・クラリ氏をFRB副議長に指名する意向を明らかにした。一方、欧州金利上昇を横目に上昇幅を拡大したユーロドルは、1.2370レベルでNYオープン。トランプ大統領の通貨安誘導批判を受け、ドル売りが強まり高値1.2395まで上昇したが、ユーロ円に連れ安となり1.2363まで反落。その後は1.2375-85のレンジで方向感なく推移し、1.2380レベルでクロス。 |

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:橋・田家